

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7962G および 7942G は、パーソナルコンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、短縮ダイヤル、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。設定に応じて、この電話機では次のものをサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーションおよび Web ベースのサービスへのアクセス
- 電話機能のオンライン カスタマイズおよびユーザ オプション Web ページからのサービス
- 電話スクリーンに情報を表示する包括的なオンライン ヘルプ システム

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアの理解のために、次の図と表を使用することができます。

Cisco Unified IP Phone 7962G










184911

Cisco Unified IP Phone 7942G




184910

項目	説明	参照先または問い合わせ先
1  プログラマブル ボタン	<p>設定に応じて、プログラマブル ボタンからは次にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話回線およびインターコム回線（回線ボタン） 短縮ダイヤル番号（短縮ダイヤル ボタン、BLF 短縮ダイヤル機能を含む） Web ベースのサービス（個人アドレス帳ボタンなど） コール機能（プライバシー、保留、転送のボタンなど） <p>表示されるボタンの色によって、回線の状態が次のように示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">  緑、点灯：アクティブ コールまたは双方向のインターコム コールです。  緑、点滅：コールは保留状態です。  オレンジ、点灯：プライバシー機能が使用中、一方向のインターコム コール、サイレントがアクティブ、またはハント グループにログイン中です。  オレンジ、点滅：コールが着信中またはコールが復帰中です。  赤、点灯：リモート回線が使用中です（共有回線または BLF ステータス）。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話スクリーンの機能について (P.14) 基本的なコール処理 (P.19) 短縮ダイヤル (P.40) 共有回線の使用 (P.45) BLF の使用による回線の状態の判断 (P.49) BLF の使用による回線の状態の判断 (P.49) インターコム コールの発信と受信 (P.38)
2 電話スクリーン	電話機能を表示します。	電話スクリーンの機能について (P.14)
3 フットスタンド ボタン	電話機本体の角度を調節します。	フットスタンドの調節 (P.6)
4  メッセージ ボタン	サービスによって異なりますが、ボイス メッセージ サービスに自動ダイヤルします。	ボイス メッセージへのアクセス (P.71)

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
5	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。履歴およびディレクトリにアクセスするために使用します。	履歴の使用法 (P.63)
6	ヘルプ ボタン 	[ヘルプ] メニューをアクティブにします。	電話機に関するヘルプシステムへのアクセス (P.16)
7	設定ボタン 	[設定] メニューを開閉します。電話スクリーンのコントラストおよび呼出音を制御するために使用します。	電話機の設定の変更方法 (P.60)
8	サービス ボタン 	[サービス] メニューを開閉します。	ユーザ オプション Web ページの使用 (P.73)
9	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカフォンの音量 (オフフック)、および呼出音の音量 (オンフック) を制御します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法 (P.57)
10	スピーカ ボタン 	スピーカフォンモードのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法 (P.57)
11	ミュート ボタン 	マイクロフォンモードのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。	ミュートの使用 (P.26)
12	ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットモードのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用法 (P.57)
13	ナビゲーション ボタン 	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックのとき、発信履歴ログに含まれる電話番号を表示します。	履歴の使用法 (P.63)
14	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	基本的なコール処理 (P.19)
15	ソフトキー ボタン 	各ボタンは、電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	電話スクリーンの機能について (P.14)
16	ハンドセットのライトストリップ	着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	ボイス メッセージへのアクセス (P.71)

回線とコールについて












回線とコールについて混同しないために、次の説明を参照してください。





回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。設定に応じて、Cisco Unified IP Phone 7962G は 1 ～ 6 本、Cisco Unified IP Phone 7942G は 1 ～ 2 本の回線をサポートします。電話機に割り当てられた回線の数は、電話スクリーンの右側で確認します。電話機の回線の数は、電話番号と電話回線アイコン  の数と同じです。

コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。デフォルトでは、電話機は 1 本の回線につき 4 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

回線とコールのアイコンについて

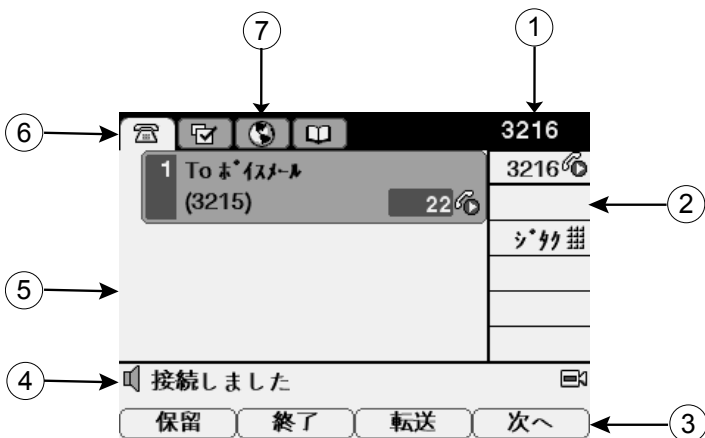
電話機には、コールと回線の状態の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線のコールアクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号のダイヤル中または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に現在接続されている状態です。
	呼び出し中のコール	いずれかの回線で着信コールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.25 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用	共有回線の別の電話機に接続コールがあります。詳細については、P.45 の「 共有回線の使用 」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.25 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	認証されたコール	P.50 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.50 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	アイドル回線 (BLF)	P.49 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。
	ビジー回線 (BLF)	P.49 の「 BLF の使用による回線の状態の判断 」を参照してください。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	サイレント状態の回線 (BLF)	P.49 の「BLF の使用による回線の状態の判断」を参照してください。
	アイドル状態のインターコム回線	インターコム回線は使用されていません。P.38 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	一方向のインターコム コール	インターコム回線が一方向のオーディオを送信中または受信中です。P.38 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。
	双方向のインターコム コール	受信者がインターコム回線を押して発信者との双方向オーディオをアクティブにしました。P.38 の「インターコム コールの発信と受信」を参照してください。

電話スクリーンの機能について

次の図は、アクティブなコールと複数の機能メニューが開いているメインの電話スクリーンの概観を示しています。








1	プライマリ電話回線	プライマリ電話回線の電話番号（ディレクトリ番号）を表示します。複数の機能タブが開いている場合は、電話番号、時刻、日付もここに表示されます。
2	プログラマブルボタンのインジケータ	プログラマブルボタンには、電話回線ボタン、短縮ダイヤルボタン、電話機サービスボタン、また電話機能ボタンとしての働きもあります。アイコンとラベルは、これらのボタンの設定状況を示します。アイコンリファレンスについては、このガイドの冒頭にあるクイックリファレンスカードの「 電話スクリーンのアイコン 」を参照してください。
3	ソフトキーのラベル	ソフトキーの機能をそれぞれ表示します。ソフトキーをアクティブにするには、ソフトキーボタンを押します。
4	ステータス行	オーディオモードのアイコン、ステータス情報、およびプロンプトを表示します。
5	コールアクティビティ領域	発信者ID、通話時間、および標準の表示で強調表示されている回線のコールの状態など、回線ごとの現在のコールを表示します。 P.12の「回線とコールのアイコンについて」 および P.28の「複数のコールの表示」 を参照してください。
6	電話タブ	コールアクティビティを示します。このタブを押して、コールアクティビティ領域に戻ります。
7	機能タブ	各タブは、開いている機能メニューを示します。 P.15の「機能ボタンおよびメニューについて」 を参照してください。

電話スクリーンのクリーニング

電話スクリーンを拭く場合は、乾いた柔らかい布だけを使用してください。液体や粉は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。








機能ボタンおよびメニューについて

機能ボタンを押して、機能メニューの開閉を行います。

目的	必要な操作または状態の説明
機能メニューを開閉する	<p>次の機能ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">  メッセージ  サービス  ディレクトリ  設定  ヘルプ
リストまたはメニューをスクロールする	ナビゲーション ボタンを押します。
機能メニューの 1 つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
開いている機能メニューを切り替える	機能タブを押します。各機能メニューごとに、対応するタブがあります。機能メニューを開くと、対応するタブが表示されます。

電話機に関するヘルプ システムへのアクセス

電話機には、包括的なオンライン ヘルプ システムが備わっています。ヘルプの項目は電話スクリーンに表示されます。

目的	必要な操作または状態の説明
メインメニューを表示する	電話機の  を押し、メニューが表示されるまで数秒待ちます。 メインメニューには、次の項目が含まれます。 <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified IP Phone について：電話機に関する詳細な説明• 操作方法：電話機の一般的なタスクに関する手順• コール機能：コール機能に関する説明や手順• ヘルプ：ヘルプの使用やアクセスに関するヒント
ボタンやソフトキーを確認する	 を押してから、すぐにボタンまたはソフトキーを押します。
メニュー項目を確認する	 、  、または  を押して、機能メニューを表示します。 メニュー項目を強調表示し、  をすばやく 2 回押します。
ヘルプを使用してヘルプを表示する	 をすばやく 2 回押します。必要なヘルプ項目を選択します。

機能のアベイラビリティについて

電話機のシステム設定によって、この電話ガイドに記載されている機能がご使用の電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。


機能にアクセスするには、ソフトキーを使うか回線ボタンを押します。機能の一部はユーザが設定できますが、大部分はシステム管理者が制御します。

次に、機能にアクセスするためのソフトキーと回線ボタンの使用方法について詳しく説明します。

機能	ソフトキー	回線ボタンのラベルとアイコン
コールバック	折返し	折返し 
コール転送	不在	不在転送 
コール パーク	パーク	パーク 
コール ピックアップ	ピック	ピック 
会議	会議	会議 
会議リスト	参加者	会議リスト 
サイレント	サイレント	サイレント  または サイレント 
コールの終了	終了	コールの終了 
グループ ピックアップ	G ピック	グループピックアップ 
保留	保留	保留 
ハント グループ	ハント	ハントグループ  または ハントグループ 
迷惑呼 ID	迷惑呼	迷惑呼 ID 
Meet-Me 会議	ミーティング	ミーティング 
モビリティ	モビリティ	モビリティ 
発信	発信	発信 
他のグループのピックアップ	他 Grp	その他のグループ ピックアップ 
品質レポート ツール	品質	品質レポートツール 
リダイヤル	リダイヤル	リダイヤル 
最後の会議参加者の削除	ドロップ	最後の参加者の削除 
転送	転送	転送 
ビデオ モード コマンド	ビデオ	ビデオ 

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリングプロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。